

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ヒカリノアトリエ巨勢		
○保護者評価実施期間	令和6年12月11日		～ 令和6年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和6年12月11日		～ 令和6年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・アート展示会を開催し、地域の方々に放課後等デイサービスを利用している子どもたちの作品を見てもらうことを通じて、放課後等デイサービスを知ってもらい、さまざまな特性を持つ子どもたちがいることについての理解を広げていく取り組みを行っている。	・毎年マルシェイベントに参加し、子どもたちが歌や楽器の演奏を地域の方々の前で披露している。	・今後はイベントに参加する際に、放デイでの活動内容を紹介するブースを設営して地域の人たちに見てもらい理解につなげる。
2	・不登校支援に重きを置き、小集団の中で一人一人の特性や状態に合わせて臨機応変な支援に努めており、今後もスタッフ一同研修等の参加により、支援スキルの向上及び、スタッフ間のスキルレベルの均一化を図る。 ・中には人との関わりを極端に避ける状態になっているお子さんもいるので、例えば指導員と1対1での短時間の活動から始め徐々に段階を踏んで、集団参加を促す等、きめ細やかな対応をしている。		
3	・地域の体育館や公園での活動を頻繁に行い、その際に公園で遊んでいる地域の小学生たちとサッカーなどで交流を行っている。		

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用者数は増えているが職員数は現状のままなので、将来的に保護者の願う個々の状態に合わせた支援が難しくなる可能性がある。	・求人募集を長い期間続けているが、福祉サービス職への応募が減ってきていることもあり、人材確保が難しい。	・毎年、イベントでアート展を毎年続けたり、若年層に対してSNSなどで活動内容を見てもらい子どもへの支援の仕事に興味を持ってもらえるよう啓発を続ける
2	・教室内の音対策や駐車場の数が少なく、送迎時に近隣にご迷惑をかけてしまうなどの施設面の課題があり、利用者数の増加でより深刻になりうる。		・少し離れた場所にすでに駐車場を2区画確保した。今後は立地や間取りなど駐車場確保の条件を考慮して違う場所に教室を移動させることも検討中。
3			